

藤山中学校

学習の手引き

学びが好きになる

わからないことを
わからないって言える

学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識及び技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力、判断力、表現力等



()年 ()組 ()番

生徒氏名()

*この冊子は、各学年で制作しています。

勉強するときの参考にしてください。



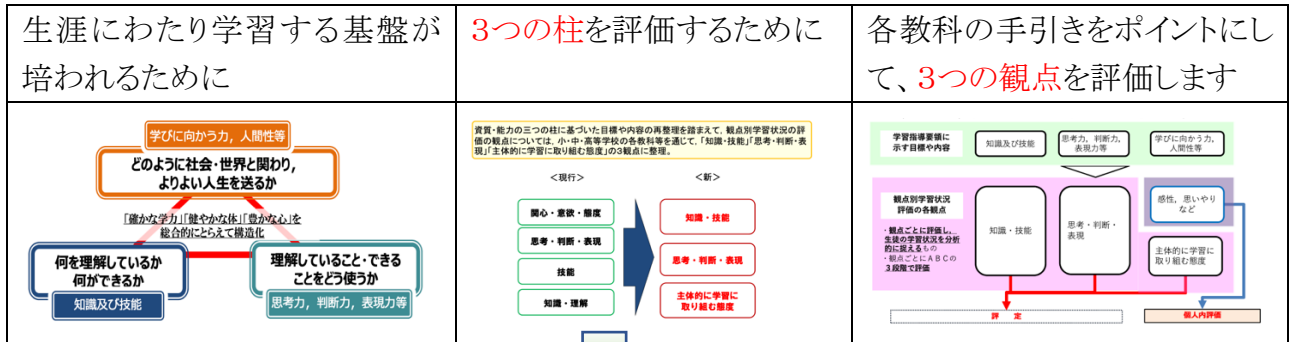
学習の手引き(ICT機器の利用)



本校では、生徒一人ひとりの学力を見取り、進級・進学するまでに身に付けておくべき力を明確にして、全校体制で取り組んでいます。

1. 新しい評価と評定について

(ア) 新学習指導要領の全面実施と学習評価の改善について (令和 2 年 10 月 文部科学省初等中等教育局教育課程課) 抜粋



3つの観点を評価結果から5段階で評定を算出します

2. 一人一台のICT機器の利用について

(ア) Society5.0 の到来を

見据え、これからの時代を切り拓く生徒に求められる「情報活用能力」等を育成するため、「GIGAスクール構想」の実現に向け、その基盤となる

ICT 教育環境の整備により、市内小・中学校に在籍する児童生徒に対して、学習者用端末の無償貸出を実施しています。

(イ) パソコンのデスクトップの中には、次のアイコンがあります。

- ① **ロイノート・スクール**にログイン・・・ロイノートが利用できます
- ② **eライブラリ**・・・
 - ① eライブラリ DL 学習(家で Wi-Fi に接続できない場合に利用できます)
 - ② 家庭学習用(家で利用できます)
 - ③ 児童・生徒用(学校で利用できます)
- ③ **Zoom**・・・Zoom が利用できます。(オンライン授業や情報共有できます)
- ④ **レントランス(英語のデジタル教科書)**
- ⑤ **Teams**(ファイルの共有などができます。また、共同作業もできます)



3. ロイノートの使用について

(ア) カメラ・・・写真や動画を撮影する

(イ) テキスト・・・文章を入力する

(ウ) Web・・・Web スライド(リンクをはれる)

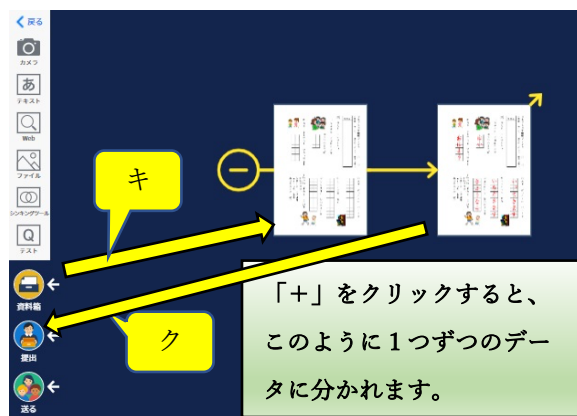
(エ) ファイル・・・ファイルを保存する

(オ) シンキングツール・・・思考を深める部品が
利用できます。

(カ) テスト・・・テストを行うことができる

(キ) 資料箱・・・「やまぐち学習支援プログラム」のデータを、「〇〇」というフォルダに、各学年、各教科のフォルダに分けて入れています。取り組むプリントのデータをノートにコピーして使いましょう。

(ク) **先生用端末へ「提出」することができます。**家での自主学習にも活用することができるので、自分の課題に応じて取り組んでみてください。取り組む前には、学校で活用の方法を学びましょう。



4. Zoom の使用について

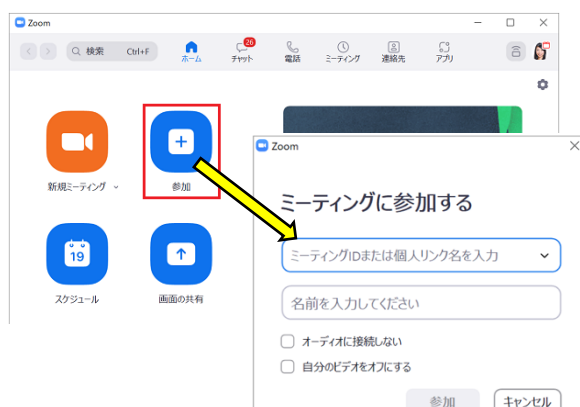
(ア) Zoom のデスクトップクライアントを開きます。

(イ) 以下のいずれかの方法でミーティングに参加できます。[ミーティングに参加]をクリックします。

(ウ) Zoom にサインインし、[参加]をクリックします。

(エ) ミーティング ID 番号と自分の表示名を入力します。名前は自分を入力します。音声や映像を接続するかは選択しないで、[参加]をクリックします。

(オ) 本校では、音声・画像ともに**オフで利用しません。**



5. eライブラリの使用について

e ライブラリの家庭学習サービスは、ICT 機器を使って、**小学1年生から中学3年生**までの教科を自由に学習できるツールです。予習・復習など、毎日コツコツ学習することができます。保護者の方も一緒に活用することができます。

(ア) ログインページに「**数字の学校コード**(数字11桁)」「**ログインID**」「**パスワード**」(学校で指定)を入力し、【ログイン】ボタンを押します。ID は学校(18002887596)、家(28737332041)

(イ) 学習用のトップページを開きます。

(ウ) 学習用のトップページを開いたら、右上に自分の名前が出ているか確認しましょう。

(エ) 先生からの指示がある場合は、選択をクリックします。また、「自分で選ぶ」→「単元から探す」を選ぶことも**自主学習**できます。

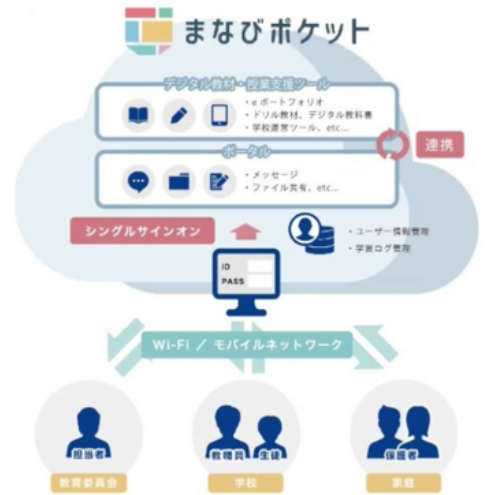
(オ) 学年、教科、単元、教材を選びます。また、**レベルを選んで**、ドリルができます。

(カ) 間違えたときは、「**リトライ**」でやり直します。最後に「**採点**」を選んで終わると習熟度の目安になります。



6. まなびポケットについて

(ア) プログラミング教育、英語教育、PBL(project-based learning)、学習指導要領も新たに、大きな変化を求められる教育現場となっています。そして、教育の情報化を支援するソフトウェアも、次々と新しいものが登場しています。その環境の中で子どもたちの学びを支援してくれるものが「まなびポケット」です。まなびポケットでは、プラットフォーム上にある各社デジタル教材(コンテンツ)と、NTT コミュニケーションズ株式会社が無料提供するコミュニケーション機能を利用することができます。インターネットで利用するクラウドサービスのため、Wi-Fi や LTE 回線さえあれば、いつでもどこでも利用することができます。



- ① マルチ OS/ブラウザで動作可能対応。
- ② 提供する学習コンテンツは全てシングルサインオン、Office365 とも SSO が可能。
- ③ 直観操作のポータル機能や SSO を実現する統合認証基盤は無償提供。
- ④ 国が求めるクラウド仕様やセキュリティポリシーに準拠。

(イ) ドリル教材について

- ① 授業内容の予習、復習
- ② 個に応じたドリル学習
- ③ 2000本の動画教材
- ④ 動画連動の5000問+プリント

7. やまぐちっ子学習プリント(プラス)の使い方について

(ア) 山口学習支援プログラムは、基礎・基本の問題を中心とした「やまぐちっ子学習プリント」、思考力・判断力・表現力等の問題を中心として「やまぐちっ子学習プリントプラス」さらに、課題を解決しながら学習を深めることができる「みんなでチャレンジ学習プリント」があります。



(イ) やまぐち学習支援プログラムに検索してアクセスします。

<https://gimukyo.yasn21.jp/gakushi/>

(ウ) 「やまぐちっ子学習プリント」「みんなでチャレンジ学習プリント」「やまぐちっ子 the Movie」をどれかを選択します。

(エ) 各学年・教科を選択し、印刷することで利用できます。

(オ) やまぐちっ子学習プリントの中に、「やまぐちっ子学習プリントプラス」に挑戦することで、**思考力・判断力・表現力**を身に付けることもできます。



8. 夕学・週末課題について

各教科で夕学・週末課題を実施しています。終わりの会後に10分間でできる問題に取り組んでいます。「継続は力なり」積み重ねることが大切です。

1日に**10分間**でも、1週間で**約1時間**、1ヶ月で**4時間**、1年間で**48時間=2日分**になります。週末課題は上記のICT機器を利用するかプリントの場合があります。テスト週間などで各教科を実施しています。



やまぐちっ子 学習プリントプラス 地震の伝わり方 月 日

中学校 1年理科 組番 氏名

1 えみさんとあやさんは理科の授業で学んだことを使って、地震の記録を分析することにしました。表は、震源の深さがほぼ同じ3つの地震(地震A、地震B、地震C)が起きたときの観測地点の震度を表しています。

【観測地の震度】

	下関	萩	山口	防府
地震A	2	1	2	2
地震B	2	2	2	2
地震C	1	1	3	1

えみさん: 観測地点の揺れの大きさを震度、地震の規模の大小は(①)で表したよね。
あやさん: 地震Cが起きたとき、山口で震度3の揺れを観測しているから、地震Cが最も(②)が大いかな。
えみさん: 必ずしもそうなるとは限らないよ。(①)は地震の規模だから、震度とは一致しないこともあるよ。

(1) えみさんとあやさんの会話文中の(①)に入る適切な言葉を書きなさい。

1年生 学習の手引き

国語

4 質の高い教育を
みんなに



主体的な学び

対話的な学び

深い学び

【1 授業のポイント】 この学習内容は、この1時間でしか学べない！

- ① はっきりとした声で、正確に音読しましょう。
 - ・正しい音読は、正しい読解につながります。まずはお手本をよく聞いて、漢字の読みや、文章の切れ目、音の高低を確認しましょう。自分で読むときは、背筋を伸ばして、声に張りをもたせることを意識しましょう。
- ② 板書はきちんと写しましょう。
 - ・板書には、大切な情報が詰まっています。家庭学習の際にノートを見返すことで、要点を効率よく振り返ることができます。
- ③ 「話す」「聞く」姿勢を意識しましょう。
 - ・相手に届くように意見を発表し、人の発表は体と心をその人に向けて、最後まで静かに聞きます。お互いの意見を大切にし、活発な議論をしましょう。
- ④ 小テストを大切にしましょう。
 - ・漢字テストなどの日頃の積み重ねとなる小テストには真剣に取り組みましょう。「真剣に取り組む＝しっかりと準備をして受ける」ということが肝要です。



表現力・発表力を高めよう！

【2 家庭学習のポイント】 家での学習時間の充実を図ろう！

- ① 漢字ノート
 - ・漢字ノートを埋めるだけで満足せず、覚えられないまで、何度も書いて練習しましょう。
- ② ワーク
 - ・ワークをやるときは、教科書の本文をしっかりと確認しながらやりましょう。全部合っていることが正しいわけではありません。どこがわからないかをはっきりさせるために有効活用しましょう。
- ③ NEW ライフ
 - ・知っている漢字は積極的に使う、見る人が読みやすいように丁寧に書く、この2点を意識して取り組みましょう。
- ④ 読書
 - ・物語（小説）、随筆、説明的文章、新聞記事など、いろいろな種類の文章、言葉に触れましょう。知っている言葉を増やすことが読解力の向上につながります。



1年生 学習の手引き

社会

4 質の高い教育を
みんなに



主体的な学び

対話的な学び

深い学び

【1 授業のポイント】 この学習内容は、この1時間でしか学べない！

① 社会科を学ぶ目的

今を生き、未来を生き抜くために必要となる様々な力を身に付けることです。そのために災害などから身を守る術、世界と日本の関係や日本がこれまでにどのような道のりを歩んできたのかを学びます。また、選挙の仕組みや税金、法律などについて大まかに学習していきます。

② 1年生の学習内容

「ふるさと字部」を読もう！

- ・世界各地の気候や産業の特徴など（地理的分野）
- ・古代の日本～戦国時代の終わり（歴史的分野）

③ 授業を通して身につけさせる力

- ・考える力（課題に対して一人ひとりが考えをもつこと）
- ・結びつける力（様々な事象や仕組みと社会・日常生活を結ぶこと）
- ・創造する力（社会の新たな仕組みや課題に対する解決策を創造すること）

④ 授業をより理解するためのコツ

- ・学習のめあてを把握すること（授業のゴール・目標を押さえる）
- ・他者の意見に耳をかたむけること（事象との結びつきを見つける）
- ・学習をふりかえること（何を学んだのかを整理する）



【2 家庭学習のポイント】 家での学習時間の充実を図ろう！

① 予習

教科書の太字（重要語句）の意味を調べましょう。意味を先に調べておくことで、授業の内容が身に付きやすくなります。

② 基礎作り

地名や人物名、事象の名称など社会科には覚えることがたくさんあります。覚えた内容を使って課題を解く活動が多いため、覚えることは社会科にとって必要です。複数回ノートに書いて事象と人物名を合わせて覚えるような工夫を行い、基礎作りをしましょう。

③ 復習

ある心理学者の実験では、記憶は次のような速度で忘れられていくといわれています。

学習後1時間 → 内容の約40%を忘れる

学習後1日 → 内容の約60%を忘れる

学習後1週間 → 内容の約75%を忘れる

忘却曲線

授業で理解できても、何もしないままでは学習した内容の約20%しか身に付けられません。そのために、ワークやノートなどを使って復習することで、授業で身に付けた知識や技能を定着できます。



1年生 学習の手引き

数学

4 質の高い教育を
みんなに



主体的な学び

対話的な学び

深い学び

【1 授業のポイント】 この学習内容は、この1時間でしか学べない！

① 「めあて」と「振り返り」を意識した取組をしましょう。

② 次の4つのことにメリハリをつけて取り組みましょう。

先生の指示や説明を「聞く」、自分の言葉で「話す」、先生からの指示や課題、黒板の内容を「書く」、なぜそうなるのか「考える」

③ 役立つノート作りをしましょう。

途中の計算や解き方のプロセス（過程）をていねいに書く。間違った問題に、特に意識を向ける。改善点（どうして間違ったのか）や考え方（なぜそうなるのか）を書いておく。日付や問題番号、教科書のページ数を書く欄や備考欄を設ける。備考欄には、板書以外の重要事項や先生が強調することがらを書く。

④ 数学的に説明する力や記述力を身に付けましょう。

自分の考えを友達に説明する習慣を身に付けよう。理解できない時は「どうしてそうなるの？」と先生や友達に積極的に質問しよう。問題の状況を把握するために、図や表・グラフ・資料等をしっかり利用し、「考える楽しさ」を実感しましょう。学習道具は前夜に確認して忘れものがないようにしましょう。数学では、コンパスや定規が必要です。定期テストのときは必ず用意しなければなりません。

⑤ 学習道具は前夜に確認して忘れものがないようにしましょう。

数学では、コンパスや定規が必要。定期テストのときは必ず用意しなければなりません。



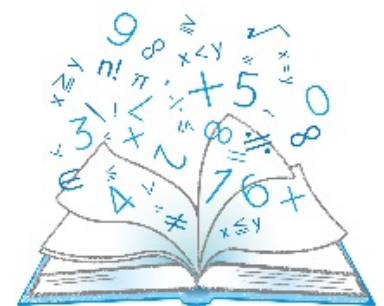
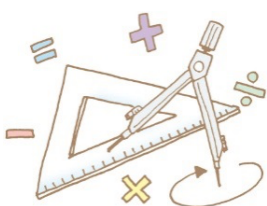
【2 家庭学習のポイント】 家での学習時間の充実を図ろう！

① 復習を中心に取り組みましょう。

- ・小学校の学習内容は中学校の学習内容の土台となります。しっかりと身に付けよう。
- ・授業で学習したことがらは、その日のうちにワークなどで復習しよう。
- ・理解度を高める1番の近道は、ワークや教科書の問題を何度も繰り返し解くことです。
- ・一度解いて「分かったつもり」になるのではなく、確実に定着するまで課題や練習問題にくり返し取り組みよう。
- ・一度やって分からなかった問題は、ノーヒントで解けるまで取り組みよう。

② 答えを導く過程を大切にしましょう。

問題を解くときは、答えに至るまでの途中式や考え方を大切にしよう。途中式を書くことは、考えの流れを整理して、間違った考え方の発見にとっても大切に有効です。



1年生 学習の手引き

理科

4 質の高い教育を
みんなに



主体的な学び

対話的な学び

深い学び

【1 授業のポイント】 この学習内容は、この1時間でしか学べない！

理科では「科学的に考える力」「観察や実験を行う力」「自然に関することの知識」などを身に付けることを目標とした教科です。

1年生では、動物・植物のなかま分け、物質の区別、力、地球など、身近なことに関する内容を学習します。

① 授業中は次の3つを意識しよう！

- ・観察や実験、話し合いなどの活動は、班で協力して取り組もう。
- ・実験や観察は、どんなことを調べるのか、目的をきちんと理解し、予想をたてながら行おう。ポイントは①見つける ②比べる ③変化を見る ④関係を見る



② ノート・学習プリントの取り方は次の5つを意識しよう！ *「めあて」に視点をあてて・・・

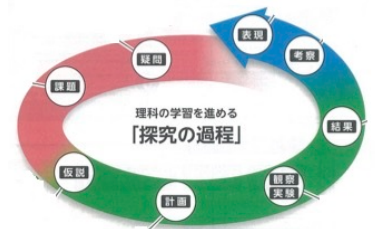
- ・後で書き込みなどができるように、スペースをあけて記録しよう。
- ・赤色や青色のペンを使って、重要なところが一目でわかるようにしよう。
- ・図やグラフは後でメモを書き込めるように、大きめにはっきりと書こう。
- ・板書されていないことでも、大事なことやメモを自分で書き込もう。
- ・授業中のささやきをメモしよう。

【2 家庭学習のポイント】 家での学習時間の充実を図ろう！

① 予習のポイント

『観察・実験の目的や方法、注意事項の確認』

- ・観察や実験の手順
- ・観察器具や実験器具の取り扱い方教科書のQRコードを参照
- ・観察や実験を行う上での注意点【自学ノートを活用しよう!!】



② 復習のポイント【授業があったその日のうちに取り組もう!!】

- ・実験の結果や考察を見直す。
- ・教科書とノートを見直す。
- ・理科ノートのまとめのページを記入し、まとめる。
- ・重要語句や法則をノートにまとめたり、練習問題を解いたりする。

③ 【プリントやワーク、自学ノートを活用しよう!】

- ・プリントやワークなど、練習問題を何度も解き直して、できなかったところは繰り返し取り組もう。

・公式や法則はただ覚えるだけでなく、問題を解く際に活用できるようにしておこう。テスト前などは計画的に学習内容を復習するように心がけよう。

・ICT機器を使いこなそう。教科書にある写真や動画も学習に役立ちます。また、ロイロノートやeライブラリを利用しよう。



1年生 学習の手引き

英語

4 質の高い教育を
みんなに



主体的な学び

対話的な学び

深い学び

【1 授業のポイント】 この学習内容は、この1時間でしか学べない！

- ① 単語の発音、英文の音読を人と話す声の大きさで行いましょう。
 - ・音読をすることは、英語学習においてとても大事です。リスニングや長文読解などにも役立ちます。恥ずかしがらずに、英語をしっかりと声に出しましょう。
- ② ペア学習やグループ学習では友だちと協力して積極的に取り組みましょう。
 - ・互いに教え合い学び合いで、より理解を深めることができます。
- ③ 異文化にふれて自分自身の考え方など、幅を広げましょう。
 - ・教科書の内容やALTの先生との授業、オンライン授業などで、異文化に接する機会がとて多くあります。多様な物の見方や考え方を味わいましょう。
- ④ 本文の読解は英語を読むことに精一杯になり、内容を捉えることが困難かも知れませんが、知らない世界を知ることができてとてもおもしろいです。
- ⑤ 持参物をきちんと整えることが大切です。



【2 家庭学習のポイント】 家での学習時間の充実を図ろう！

- ① 毎日ノート（英語ノート）で英単語や英文を書いて英語の知識を定着させよう。
 - ・自作の問題などを作るなどアウトプットを増やすことで効率を上げよう。
- ② ワークや課題プリントで文法のルールを確認して間違えたところをそのままにしないようにしよう。
- ③ その日に習った内容を書いたり、音読したりして表現の理解を深めよう。
- ④ eライブラリで何度も問題をこなして多くの問題に触れよう。
- ⑤ 語順、be 動詞、三人称単数、複数形、現在進行形、過去形の使い方をマスターしよう。
- ⑥ 英検5級の合格をめざしましょう。
 - ・4級にもチャレンジしてみよう。
- ⑦ 教科書のQRコードを使って、音読練習をしよう。



1年生 学習の手引き

音楽

4 質の高い教育を
みんなに



主体的な学び

対話的な学び

深い学び

【1 授業のポイント】 この学習内容は、この1時間でしか学べない！

中学校の授業では、合唱活動と鑑賞活動を中心に行います。歌はもちろん一人でも歌えますが、大勢いないとできない合唱活動を通して、音楽の授業は苦手だと思っている人でも、他人と音を合わせたり、リズムを合わせたりすることで一緒に活動する喜びや楽しさを味わってほしいです。また鑑賞活動では様々なジャンルの曲に触れ、その音楽の特徴を言葉で説明できるようにすることを目指してください。音楽の授業は週に1回しかありません。楽しんで集中して取り組みましょう。

① 【歌唱活動】

- ・模範演奏をよく聴いて、正しい音程やリズムで歌えるようにしましょう。
- ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱しましょう。

② 【鑑賞活動】

- ・音楽の特徴を、詩の内容や曲想や曲が作られた背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明しましょう。

③ 【持参物】

- ・教科書・ワーク・コーラスフェスティバル・ファイル・パソコン

【2 家庭学習のポイント】 家での学習時間の充実を図ろう！

- ① J-POP、K-POP、演歌、クラシック、ジャズなど様々なジャンルの音楽を選び好みせず聴きましょう。
- ② 気に入った曲やアーティストの魅力を言葉で伝えられるようにしましょう。
(透明感のある声が好き、明るくて疾走感がある曲調が聞きやすいなど、具体的に説明できるとなお良いです)

3年間の学びの道

音楽のよさや美しさを
感じ取ることができる

音楽のよさを言葉で
伝えることができる

音楽表現に生かす
ことができる



新しい時代に柔軟に対応できる学力の育成【教育活動の重点】

1年生 学習の手引き

美術

4 質の高い教育を
みんなに



主体的な学び

対話的な学び

深い学び

【1 授業のポイント】 この学習内容は、この1時間でしか学べない！

- ① 忘れ物をしない。
- ② 自分で考え、方法を工夫して、失敗してもあきらめずに挑戦する。
- ③ 真剣にこつこつと最後まで作り終える。
- ④ 制作は計画的に進め、期限までに完成させる。
- ⑤ 道具は正しく使い、公共物は丁寧に扱い、必ず返却する。
- ⑥ 自分の作品を大切にし、他の人の作品を尊重する。
 - ・ポスターカラーの使い方をマスターしよう。
 - ・レタリングの基本を知って、書けるようになろう。
 - ・対象をよく見て、特徴をつかんで描こう。
 - ・豊かな発想をしよう。



【2 家庭学習のポイント】 家での学習時間の充実を図ろう！

- ① 次回の制作のアイデアを考える。
- ② 前日までに必要な物ややっておかなくてはいけないことはなかったか、など確かめる。
- ③ 期限に間に合いそうにないときは、昼休みに進めるなど、先生に相談する。
- ④ 完成作品を持ち帰ったら、家に飾ろう。
- ⑤ 普段から身の回りの様々な物を、絵に描いたり立体造形にしたりするつもりで見してみる。
- ⑥ 美術関係のテレビ番組を見たり、美術館に行ってみたりしよう。

鑑賞しよう！



宇部市の彫刻を見よう！

新しい時代に柔軟に対応できる学力の育成【教育活動の重点】

1年生 学習の手引き

保健体育

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

4 質の高い教育を
みんなに



【1 授業のポイント】 この学習内容は、この1時間でしか学べない！

授業で大切にしてほしいこと。

- ① 授業に必要な学習用具をそろえ、見学や欠席することなく授業を受けよう。
- ② 授業の開始**3分前**には所定の場所に整列し、規律ある行動をとろう。
- ③ 用具の準備や片付けを積極的に行うなど、自己や仲間の**安全に配慮**した活動環境を整えよう。
- ④ 仲間と協力して**積極的**に学習に取り組み、技能や体力の向上に努めよう。
- ⑤ 自己の最善を尽くして運動をしよう。
- ⑥ 保健学習では、自他の健康の大切さに気づき、主体的に健康の保持増進に取り組もう。
- ⑦ 体育理論の学習では、合理的な**運動の実践**の仕方を学ぼう。
- ⑧ **1年生**の学習内容「体育分野（A 体づくり運動 B 器械運動 C 陸上競技 D 水泳 E 球技 F 武道 G ダンス H 体育理論） 保健分野」



【2 家庭学習のポイント】 家での学習時間の充実を図ろう！

家庭学習の仕方

- ① 早寝、早起き、朝ごはん、**規則正しい生活習慣**を身に付けよう。
- ② 授業で学習したことから**自己の課題**を発見し、家庭で実践しよう。
- ③ 家庭でも主体的に運動に親しみ、健康の保持増進や体力の向上に努めよう。また、スポーツ観戦をし、スポーツの歴史や記録などを調べることで**運動の楽しさ**を味わおう。
- ④ 傷害や交通事故を防止するなど、**安全に配慮**した生活をしよう。
- ⑤ 学習課題を期限内に提出しよう。



学びが好きになる力を育む教育の推進

1年生 学習の手引き

技術・家庭科

4 質の高い教育を
みんなに



主体的な学び

対話的な学び

深い学び

【1 授業のポイント】 この学習内容は、この1時間でしか学べない！

技術・家庭科は、技術分野と家庭分野で週1回ずつ授業を行います。みなさんが、自立して生活するために必要な知識や技術を身に付け、よりよい生活になるように工夫し、創造していきける力を養っていきましょう！！

① 学習内容

技術分野（材料と加工の技術）【木材加工】（情報技術）【コンピュータ基本操作】

家庭分野（家族・家庭）【家庭の機能】（食生活）【献立づくり、魚・肉・野菜調理】

② 授業で必要なものを忘れずに用意しよう

□教科書 □ファイル □資料集 □技術・家庭科（家庭分野）ノート

③ 授業で大切にしてほしいこと

☆技術分野

- ・教科書をよく読み、学習内容をプリントにまとめよう。
- ・道具や機械を使います。説明をよく聞き、ケガのないようにしよう。
- ・実習は、迅速、正確、ていねいに取り組もう。
- ・友達から、先生からアドバイスをもらおう。



☆家庭分野

- ・学習内容と自分の生活をつなげてみよう。
- ・チャレンジ精神をもってモノづくりに挑戦しよう。
- ・出された課題には、最後まで一所懸命に取り組もう。
- ・友達の取り組みを参考にし、アドバイスをもらおう。



【2 家庭学習のポイント】 家での学習時間の充実を図ろう！

① 学習したことを生活に生かしていこう

② 学習したことを自学ノートにまとめていこう

③ 授業中に気になったこと、もっと調べてみたいと思ったことを家族や近所の人に聞いたり、図書館で調べたり、インターネットで検索してみよう

